

一 般 質 問

平成26年3月5日（水）

3番 和田 順 義 議員

1. 自然保護について

- ①海浜植物の保全と海浜植物保護センターの役割について

2. 防災について

- ①石狩湾新港支署新設工事の進捗状況について
- ②避難ビルの確保について
- ③下水管の異常気象への対応について
- ④住宅用火災報知機の設置状況と推進策について
- ⑤トンネルの崩落などからの道路安全対策について

3. 花川通の延伸について

- ①アンケート結果の認識について
- ②今後の取り組みについて

4. 花川北地区都市計画見直しについて

- ①人口増加の見通しについて
- ②道路のバリアフリーについて

5. 教育について

- ①教育についての認識について
- ②現行の教育委員会制度についての認識について
- ③文化の振興と文化ホール実現の見通しについて

11番 長 原 徳 治 議員

1. 新年度予算について

- ①市税をはじめ、歳入の確保は
- ②今後の財政運営にとって、公共施設のあり方は重要だが、課題にある施設管理計画の内容は
- ③政府予算には初めて住宅リフォームが位置づけられたが、市としての取り組みは
- ④福祉灯油はなぜ実施できなかったのか
- ⑤予算編成方針の枠配分方式の成果は
- ⑥財政規律ガイドラインの達成率はどうか

2. 保育行政について

- ①北海道労働局の調査結果の市内の状況は
- ②保育士の待遇改善について
- ③市内の定員超過、待機児童の状況と解消対策は
- ④国の子ども・子育て新制度では許可外保育園への補助も可能となったが、市の考え方は
- ⑤非婚のひとり親家庭の保育料軽減に取り組めないか
- ⑥子ども・子育て新制度に対応する保育園や学童保育の基準についてどう検討しているのか。こどもあいプランの基本的考え方は

3. 健康づくりについて

- ①がん検診の受診率向上対策について
- ②がん検診の充実について
- ③成人用肺炎球菌ワクチンの対象年齢の引き下げとインフルエンザワクチンへの助成について

4. 障がい者福祉について

- ①手話通訳者派遣制度の改善が必要でないか
- ②難聴者向けサービスについて

5. 教育行政について

- ①奨学金制度の改善について
- ②学校での教員の負担軽減について

13番 伊 関 史 子 議 員

1. 財政について

- ①消費税増税分の取り扱いについて
- ②指定管理者に対しての消費税分上乗せについて
- ③総務省による公共施設等の解体撤去事業に関するアンケートの回答について
- ④解体に向けての年次計画作成について

2. 魅力的なまちづくりについて

- ①職員の市内居住率を上げることについて

3. 成年後見センター事業について

- ①市民後見人養成や相談体制の強化に向けた取り組みについて
- ②フォローアップ研修について

4. 子宮頸がん予防ワクチンについて

- ①ワクチン接種の積極的勧奨の中止が解除された場合の対応について
 - イ. 郵送物には全国で発生している症例を掲載する
 - ロ. 接種を実施する医療機関に対し接種前に注意事項やリスクの説明を行なう指導をする

5. 教育について

- ①教育委員会制度の改革など大きな変革期における教育長の考えについて

6. 学校図書館について

- ①学校図書館司書の配置計画について

15番 村上 求 議員

1. 教育の制度について

- ①現在教育行政で話題となっている、反転授業についてどのような認識なのかを伺います。

2. 防災関連について

- ①去年の11月9日に2つの町内会の合同訓練を拝見させて頂きました。その際に気になった点があります。市側と消防団との合同訓練を行わないのか伺います。
- ②去年の10月に伊豆大島で台風26号による甚大な災害に見舞われました。その際にAEDによる人命救助が非常に効果があったとの報道を見ました。現在本市におけるAEDの設置状況と設置の考え方を伺います。
- ③他市で行っている冬場に暖房器具なしでの避難所体験を1日で結構なので希望者のみ行う予定はないか伺います。

3. ふるさと納税について

- ①現在新聞や経済雑誌などで話題となっているふるさと納税について、本市の現状を伺います。また他市と比較しとても少なく感じますが、理由を伺いたいと思います。
- ②上土幌町は去年に比べて約10倍 9,900件 1億8,400万円、栗山町も20倍 3,500件 約2,000万円とのことです。寄付金の半分はいずれも地域の漁業や農業、畜産業を行っている方に直接経済波及効果に繋がっているそうですが、考えを伺います。

4. 手話条例について

- ①手話条例が先の議会で制定、可決されました。新年度においてどの様に推進していくのかを伺います。
- ②手話条例は他の市町村でいままで前例がなく、聴覚障がい者にとって暮らしやすい街づくりを目指すという事は、大変素晴らしいことだと思います。しかし、一方では他の障がいを持った方に対して今後どのように進めていくのか、という声が市民からあがっております。市とし

てどのように聴覚障がい以外の障がいをお持ちの方に提案していくのか伺います。現在、市職員で手話が出来る職員、また、視覚障がいの方が使用する点字が出来る職員はどの程度いますか。また、手話や点字の講座は年、何回程度開かれているのか伺います。

5. さっぽろ広域圏組合について

- ①平成8年に設立後現在に至っていると思いますが、設立当初は当市の負担比率が人口比率とありますが、札幌の次になぜ高い負担なのか理由を伺います。また、平成25年の事業内容と負担額を伺います。
- ②今年度の計画ではどのような事業を予定しているのか伺います。

6. 人口減対策について

- ①現在少子高齢化が進んでおりますが、他市では人口増につなげる為の政策に取り組んでおりますが、当市の取り組みを伺います。

19番 日下部 勝 義 議員

1. 市政執行方針について

- ①4期にわたり市政執行に尽力されてきた、これまでの評価と政策達成度を伺う。
 - イ. 市長はこれまで「市民の声を聴く条例」の制定を始め「手話条例」や「自治基本条例」、LNG輸入基地や大型データセンター立地など大きな実績をのこされました。今期の集大成ともいえる政策予算の編成に鑑み政策達成度をどう評価するか伺う。
- ②今後の財政運営における課題について
 - イ. これまで、財政再建に大きな成果を挙げてきました。しかしながら、人口減少、少子高齢化など今後の財政運営における課題も残されています。市役所周辺の中心核の処理、公共施設の維持、サービスの供給など施設全体の総量をどうしていくか伺う。

2. 上水道の切り替えについて

- ①昨年4月から7月にかけて水源の切り替えが行われましたが、問題は無かったのか伺う。

3. 全国学力・学習調査について

- ①学力テストの結果の公表について
 - イ. 昨年行われた結果は、依然として厳しい状況ではあるが、教科や学校別では改善もみられていると感じる。そこで、今後、学校別の結果を公表する考えはないか伺う。
- ②土曜授業の導入について
 - イ. すでに制度上「特別な必要がある場合」は授業ができる環境になっているが、石狩市の導入の考えについて伺う。

③家庭や地域との連携について

イ. テレビ・ビデオ等の視聴やゲームの時間が多いなどの課題に対しては、教育行政執行方針でも課題として捉えられており、家庭や地域との連携が必要と考えるが、具体的な方策について伺う。

④体力・運動能力について

イ. 昨年の調査では北海道の状況は、全国最低水準とのことであるが、本市の状況と具体策について伺う。

4. 教育委員会制度について

①国における制度改革の大枠が見えてきている状況にあるが、石狩市の考え方を伺う。